

久留米

通高
信専

第64号

[JULY 8, 2010]

久留米工業高等専門学校企画主事室
〒830-8555 久留米市小森野1-1-1
TEL:0942-35-9300
<http://www.kurume-nct.ac.jp/>

新入生へのことば

校長 上田 孝

桜の花の下、教職員一同で皆さんの入学をお祝いした4月の入学式から、早くも3か月が経ちました。皆さんにとって、この3か月は、あっという間だったでしょうか、それとも長い3か月だったでしょうか？

それぞれの受け止め方は違って、皆さんの高専生活5年間（60月）のうちの5%が既に過ぎたということには変わりはありません。

入学式の式辞の中で、「光陰矢の如し」という格言を引用して、新入生の皆さんに、勉強、クラブ活動、文化祭、体育祭など、何でも良いから何かに一所懸命に打ち込こんで欲しいとお話したことを覚えていますか？

これからは、自分で決めた一所懸命に打ち込むことに対して、努力を続けていくことが大切です。「継続は力なり」と言われるように、その時点では変化は気づきにくいですが、続けていけば、自分自身の中で大きな変化になって表れます。山に登るのにも、一步一步は小さな歩みですが、その積み重ねにより、日本一高い富士山や世界最高峰のチョモランマの頂上に到達することができます。

歩き続ければいつか目的地に着くというのは当たり前のことですが、現実には、何かを継続することはなかなか難しいということは、皆さんもこれまでの経験から良く分かっているのではないかと思います。

「言うは易く行うは難し」で、それを「する」と「しない」という小さな違いが、長い人生の間では、積もり積もって大きな違いになっていきます。

また、国際化が急速に進み、海外が手軽で身近になってきている社会の中で、皆さんは、卒業後、企業活動でも研究活動でも、どのような分野に進んでも外国と接する機会に遭遇

すると思います。

4月下旬の新入生合宿研修の冒頭の講話では、皆さんに異文化理解の重要性についてお話しましたが、外国の生活習慣や行動様式、物の考え方などを理解しておくことが、その国の人々と良いコミュニケーションをする上で必要です。他者や他国の意見や文化を尊重しつつ、こちらの意見を積極的に述べるのが国際社会では重要であり、基本的なコミュニケーション・ツールである英語を身につけることが大切です。外国語を学ぶ上で、発音は上手に越したことはありませんが、発音より大切なのは、伝える中身とハート、そして実際に外国語を使うことです。在学中に、コミュニケーション・スキルも是非磨いて欲しいと思います。

皆さんが実際に久留米高専に入学してみて、入る前に想像していたとおりでることと、思っていたのと違っていることがあると思います。入学後に得られた本校に関する情報を自分で加えてみて、皆さんの残りの95%の高専生活の中で、自分が何をしていきたいかについて、この時期に一度考えて、より現実的なものにして欲しいと思います。

同級生や上級生はもとより、学級担任や教科の先生、学生相談室の先生など多くの先生方と話をしてみてください。校長室にもどうぞ気軽に話しに来てください。人との話を通じて得られるものも多いと思います。

5年間を通した目標でなくても、1、2年間の短期的な目標でも構いません。早く目標を設定し、必要があれば目標を修正しつつ、自分の目標や将来の夢に向けて努力を続けて、充実感や達成感のある有意義な高専生活を過ごされることを期待しています。



赴任の御挨拶

久留米工業高等専門学校
校長 上田 孝

本年4月に久留米高専の校長を拝命致しました。

旧制の久留米高等工業学校以来、70余年にわたる歴史と伝統を有し、学生の自主性を尊重した自由な校風を持つ本校に赴任致しましたことを、大変光栄に存じます。

近年、社会の少子高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、我が国の青少年を取り巻く環境も大きく変化してきており、青少年の人間関係の希薄化や社会的自立の遅れなどが懸念されております。

このような状況の中で、本校は「自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成」を教育理念として、5年間一貫教育により、実験・実習や企業におけるインターンシップなどの体験的な学習を重視したカリキュラムを編成しております。

本年度も新入生のレベルは高く、また、卒業生は企業等から高く評価されており、昨今の厳しい景気にも関わらず、昨年度も就職希望者のほぼ100%が就職しております。また、卒業生の約4割が大学への編入学か本校の専攻科に進学し、本科での実践的な教育をベースにして、さらに勉学に励んでおります。

本年4月の入学式の式辞では、新入生の皆さんに、本校では教育目標の一つに「自立の精神」を掲げており、自ら学ぶという姿勢が大切であること、各自が高専生の品格とは何かを考えながら、高専生としての自覚と責任を持って行動して欲しいこと、在学中に同級生や上級生はもとより、学級担任や各教科の先生、学生相談室の先生など、できる限り多くの先生と話をしたいこと、校長室にも気軽に話しに来て欲しいこと、そして、勉強・クラブ活動・文化祭・体育祭等の学校行事など、何でも良いから何かに一所懸命に打ち込んで、人生の礎となるものを築いて欲しいことをお話ししました。

始業式では、在校生の皆さんに、キャンパス内では、見知らぬ人に対しても、すれ違う時には挨拶をしようとお話しました。校長室にも気軽に話に来て欲しい旨述べたところ、後日、3年生が二人で自発的に校長室に来てくれたので、高専生活などについてしばらく懇談しましたが、大変嬉しく、また、頼もしく思いました。今後とも、学生に対して開かれた校長室にしていきたいと考えております。

私自身は文系で、文部省(当時)に採用され、教育、学術、文化、スポーツ分野を中心に行政に携わってまいりました。また、総務庁青少年対策本部(現内閣府)の「世界青年の船」という青年国際交流事業を企画運営したり、本校の前は、福岡県の夜須高原青少年自然の家を始め全国に28ある国立青少年教育施設を設置運営して、青少年の自然体験活動などの体験学習を推進する国立青少年教育振興機構に勤務しておりました。高専関係では、静岡県にある国立沼津工業高等専門学校に勤務しました。

このような行政や教育現場での経験を活かし、歴代の校長や教職員の方々が築かれた蓄積をバネにして、本校の更なる発展のために専心努力して参りたいと存じます。

新任者紹介



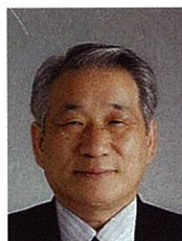
菺田 智恵子(こもだ ちえこ)

職名 一般科目(理科系)准教授
(平成22年4月1日付)

前職 順天堂大学客員准教授

抱負 これまで、7年間大学において非常勤・専任教員として教壇に立ってきました。高専は初めてで戸惑うことばかりですが、精一杯努めてまいります。どうか宜しく願いいたします。

趣味 スポーツ全般(とくに気功法)、クラシックのコンサートを聞きに行くこと。



松崎 誠一(まつざき せいいち)

職名 事務部長

(平成22年4月1日付)

前職 九州大学学務部学生生活課長

抱負 学校教育現場の仕事は自分の性格に合っており、特に学生の皆さんを支援する企画の立案や取組などに関わる仕事は大好きです。これまでの38年間の学生支援業務の経験と知識を活かして久留米高専の発展のために頑張りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

趣味 ゴルフ



黒川 秀明(くろかわ ひであき)

職名 教育研修支援室第一グループ
技術専門職員

(平成22年4月1日付)

前職 大牟田ハローワーク職業訓練
担当

抱負 今まで私が培ってきた技術や技能の経験を少しでも学生のために貢献できればとの思いと、また先輩方のアドバイスを受けながら、業務に取り組んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

趣味 趣味まではいきませんが、車が好きなので休日を利用して、愛車の部品の取付・交換・修理等を行ったりフレッシュしています。

留学生紹介



機械工学科 3年
アハマド ビン モハメッド

私はマレーシアのクランタンという町から来た留学生のアハマドです。趣味は音楽を聴くこととインターネットをすることです。スポーツでは、卓球やバドミントンをするのが好きです。

日本に留学できるとは夢にも思わなかったです。しかし、そのことがきっかけになって、しっかり勉強して立派な人間になりたいと思っています。こちらに来る前に、マレーシアにある大学では日本語を2年間ぐらい勉強しました。しかし、日本語がすべて分かったかと言えばそうではありません。この時間はちょっと足りなかったと思います。

久留米高専に着いたばかりの時、ちょうど美しい桜が花を咲かせ、私を楽しませてくれました。それは私に春という季節を感じさせてくれました。そんな気持ちははじめて感じました。やはり、日本は美しい国です。私は留学生として得た様々な知識を生かして国を発展させるつもりです。また、日本の文化や習慣も深く知りたいと思います。すなわち、勉強のみならず他のことを知ることも大事と考えています。みんなと一緒に学生生活を楽しみにしたいと思いますので、よろしくお願いします。



機械工学科 3年
ムハマド イズワン ハキミ ビン イブラヒム

私はマレーシアから来た留学生のイズワンです。久留米高専に来る前にマレーシアにある特別な学校で2年間日本語を勉強し、先生から日本についていろいろな知識を教えてもらいました。私の趣味は、サッカーすることです。

私は、小さいから機械的なものが大好きなので、高等学校を卒業してから、機械工学を勉強することに決めました。世界の中で日本は優れた技術を持っており、特に自動車や電機製品では優れていますので、日本で機械工学科を勉強することを希望しました。久留米高専では、勉強だけでなく、たくさんの友達を作ったり、日本の文化や習慣などを習って、貴重な経験をしたいと思っています。

今から3年間、みんなと一緒に楽しく時間をすごしたいと思っていますので、よろしくお願いします。



電気電子工学科 3年
ホラゴダゲ プラバート ジーワン

皆さん始めまして、私はスリランカから来た留学生のジーワンです。平成21年4月から東京日本語教育センターで一年間日本語を学び、平成22年4月久留米高専の電気電子工学科3年生に編入学することになりました。高専を卒業してから日本の大学にも入りたと思っています。私は久留米高専に編入した4番目のスリランカ人で、日本に留学するのを選んだのは日本の技術が高いからです。

私の家族は6人で、私は一番下です。スポーツの中で一番興味があるのはカンフーです。高専ではラグビー部に入っています。私は日本に来てまだ一年間ぐらいしか経っていないので、日本の分からないことがたくさんあると思います。だから皆さん私にいろんな日本のことを教えてください。これからも皆さんと一緒に楽しみながら勉強して行きたいと思います。では皆さん、よろしくお願いします。



材料工学科 3年
アブドゥル ハナン ビン モハマド ノルディン

私はマレーシアから来た留学生のハンナンです。久留米高専の材料工学科3年次に編入する前にマレーシアの大学で2年間日本語を勉強してきました。色々なことに興味を持っています。そのなかでも音楽を聴くことやバドミントンをするのが大好きです。

マレーシアは日本ほど科学技術が発達してない国です。そのため、日本の最新の技術を修得し、マレーシアの工業化に少しでも役立つ人材になるため日本への留学を決めました。新機能を持つ工業製品の開発にはマテリアルに関する基礎的な知識がとても重要であるとの思いから材料工学科への編入学を希望しました。また、久留米高専は数ある国立高等専門学校のなかでも評価の高い高専であるため、本校に編入学できたことを誇りに思っています。

私は、久留米高専の学生として、勉学に励むことはもちろんのこと、日本の文化や伝統、習慣などを深く学びたいと思います。そして、多くの友達を作り、みんなと一緒に学んだり遊んだりし、久留米での貴重な時間を有意義に過ごしたいと思っています。よろしくお願いします。

留学生紹介



生物応用化学科3年
アグス スハルト

私はインドネシアから来た留学生のアグスです。私は得意ではないですが、水泳が好きです。私は三人兄弟の長男で、下に二人の妹がいます。去年の四月に日本にきました。日本の工業高等専門学校で勉強したかったからです。その前に日本語を準備するために、私は東京で一年間日本語を勉強しました。日本は特に技術の先進国です。私は日本の技術に興味があって、より深く知りたいと思っています。だから、日本で勉強したいです。それ以外にも日本の習慣や文化を学びたいです。

私は非常に化学に興味があります。私は、化学とはユニークな世界だと思います。去年東京で日本語を勉強して、久留米高専の生物応用化学三年生に編入しました。私が勉強したいことを、久留米高専で学べているので、私は久留米高専の生活に満足しています。それ以外にも日本人の友達と先生方が優しくしてくれて、毎日楽しい生活を送っています。これから、いろいろなお世話になりますが、よろしくお願いします。



- ◆教務主事 馬越
- ◆学生主事 櫻木
- ◆寮務主事 江崎
- ◆専攻科主事 泉本
- ◆企画主事 津田

- ◆学科長
- 機械工学科 松永
- 電気電子工学科 池田隆
- 制御情報工学科 江頭
- 生物応用化学科 伊藤義
- 材料工学科 奥山
- 一般文科 平元
- 一般理科 宮地

- ◆就職主任
- 機械工学科 松井
- 電気電子工学科 高松
- 制御情報工学科 川口
- 生物応用化学科 富岡
- 材料工学科 平野

◆学級担任教員

学科 \ 学年	1	2	3	4	5
機械工学科	榑崎	南山	橋村	中尾	石丸
電気電子工学科	龍頭	赤塚	山本哲	長田	宮崎
制御情報工学科	福田か	米永	熊丸	松島	黒木
生物応用化学科	中畑	菰田	松田	渡邊	梶
材料工学科	宮本	松尾	濱上	久保	周

学科 \ 学年	1	2
機械・電気システム工学専攻	丸山	大崎
物質工学専攻	泉本	平野

◆学生相談室

福田幸（学生相談室長）、笈木、岡本、酒井、山本哲、看護師、安元（非常勤精神科医）穴井（非常勤カウンセラー）

◆キャンパス・ハラスメント相談員

福田幸（学生相談室長）、松永崇、高松、江頭、津田、笹栗、福田か、菰田、江島與、吉松、田中義、看護師

平成22年度高専大会日程表

担当校	種目	会場	7月	10	11	14	15	16	17	18
			9 (金)	(土)	(日)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
鹿児島高専	陸上競技	大分市宮陸上競技場							○	○
	ソフトテニス	晴天時：朝倉市甘木テニスコート 雨天時：有明工業高等専門学校体育館		○	○					
	バトミントン	うきは市立総合体育館 久留米工業高等専門学校体育館							○	○
	水泳	八代市民プール		○						
	ハンドボール	山鹿市総合体育館 山鹿市鹿央公民館				○	○			
熊本高専(八代)	硬式野球	県営八代運動公園野球場 八代市民球場 熊本高専八代キャンパス野球場	○	○	○					
	バスケットボール(男・女)	熊本県立総合体育館		○	○					
	卓球	八代市東陽スポーツセンター		○	○					
	剣道	熊本高等専門学校八代キャンパス第一体育館								○
都城高専	サッカー	熊本高等専門学校八代キャンパスグラウンド	○	○	○					
	柔道	大分県立総合体育館		○	○					
	バレーボール(男・女)	久留米総合スポーツセンター体育館 久留米工業高等専門学校体育館		○	○					
	テニス	熊本県民総合運動公園パークドーム						○	○	

担当校	種目	会場	11月	14	15	16
			13 (土)	(日)	(月)	(火)
鹿島高専	ラグビーフットボール	霧島市国分運動公園多目的広場	○	○		○

豊橋技術科学大学への人事交流を終えて

材料工学科 准教授 濱上 寿一

高専一両技術科学大学の人事交流制度により平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間、豊橋技術科学大学物質工学系(5系)にて教育・研究の修業をさせていただく機会を得ました。この原稿を読まれている在校生ならびに保護者の皆様方には、技術科学大学、略して「技科大」という大学名はあまり馴染みがないかもしれませんので、はじめに技科大について簡単に紹介させていただきます。

技科大は、一般の大学と違い高専卒業生の受け皿として1976年(昭和51年)に豊橋市と長岡市に創立された国立大学であります。実に、技科大生の8割が高専出身者です。そのため一般の大学に比べ、高専と技科大は非常に密接な関係があり、さまざまな教育・研究の連携が図られています。最近では、少子化に加え、各高専に専攻科が設立されたことや、旧帝大を含めた他大学が高専卒業生の編入学に力をいれてきたことや、高専生(保護者?)の地元志向も強まり、技科大への進学意識が薄れているといった現状です。今の学生は、技科大が高専卒業生のために開学された大学であるということすら知らない人も多くいるようです。あくまで個人的な意見ですが、進学先を決定するのに大学のブランド名で選択することも大切だとは思いますが、自分自身の将来のことをよく考えて大学名だけでなく、研究室選びが非常に重要かと思えます。技科大には世界で活躍している研究者もおりますので技科大を進学先の一つとして考えていただければ幸いです。

豊橋技科大は愛知県の豊橋市(人口:約38万人)にあります。豊橋には新幹線の停車駅がありますので、東京へは1時間半、大阪にも1時間半で行ける距離にあります。久留米高専からは約850km離れており、JRを利用すると博多駅でのぞみに乗り換え名古屋駅まで行き、こだまに乗り換えて豊橋駅で下車します。5時間くらいかかります。もちろん、飛行機を利用して豊橋へは行けますが、トータルの所要時間はあまりかわりません。豊橋は、気候的にも非常に過ごしやすい場所だと思います。

私が今回の人事交流制度を利用しようと思ったきっかけは、豊橋技科大に私の尊敬する松田厚範教授がいらしたからです。松田教授とは、9年前に日本セラミックス協会の研究会で知り合いになって以来、公私にわたり非常によくしていただいている先輩教員の一人であります。当時、松田先生は大阪府立大の助手で、私は都立大の助手でした。時を経て、まさか松田先生が豊橋技科大へ、そして私が久留米高専へ異動するとは夢にも思いませんでした。松田先生は、研究者としても一流ですが、教育に対しても非常に熱心に学生を指導する熱意にあふれた先生です。その先生(師匠)の下で1年間修業することで自分自身の研究・教育のスキルアップを図ることを目的として豊橋技科大への人事交流を希望し、実現しました。

豊橋技科大では、松田研究室に所属し、学生の指導にあたりました。松田研究室では、学生のコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を図るために、積極的に学会発表を行っていました。私が関係した学生の学会発表は

54件あり、その中で学生の受賞は4件ありました。また、大学院修士課程と博士課程の学生、ならびに学部1年生を対象とした講義を担当いたしました。学生の指導方法も含め、非常によい経験となりました。

今回の人事交流を快くお引き受けいただきました松田厚範教授に心よりお礼申しあげます。松田研究室のメンバーである逆井基次教授、河村剛助教、水野秘書、大羽秘書、学生の皆様のお陰で、有意義でかつ楽しい研究・教育生活を送ることができました。また、私と入れ替わりで豊橋技科大から久留米高専へ人事交流で来られた武藤浩行准教授に感謝いたします。最後になりましたが、このような機会を与えていただきました豊橋技科大学学長、教職員の皆様ならびに高専機構理事長・理事、本校校長、教職員の皆様方に厚くお礼申しあげます。非常に素晴らしい人事交流を経験させていただきました。この経験を高専の現場で活かせるよう、情熱を持って学生を指導していきたいと思っております。本当にありがとうございました。



平成21年度豊橋技術科学大学物質工学系逆井・松田・濱上・河村研究室のメンバー(最前列左の5番目から松田教授、逆井教授、筆者、河村助教、水野秘書)



久留米高専と豊橋技科大の教員・学生の交流(日本高専学会第15回年会(2009.8.28-30)が豊橋技科大にて開催され、久留米高専の学生が最優秀賞(専攻科2年)と優秀賞(本科5年)を受賞)

人事交流を終えて



制御情報工学科
准教授 熊丸 憲男

平成21年5月1日から平成22年2月28日までの10ヶ月間、内地研究員として福岡大学人文科学研究科で研究活動を行ってきました。福岡大学は、学生が2万人、教職員が3千人を超える大型の大学です。ほとんどの施設は城南区七隈にあり、その広さは七隈キャンパスだけでも約18万坪あります。学生が支払う授業料だけでも莫大な額になりますし、大学病院も持っていますので、非常にお金持ちです。しかし、なぜか私が研究を行った建物にはエレベータが無く、食事や図書館に行く度に階段を上り下りしていました。車で1時間もの距離にある大学を詳しく紹介をしても仕方がないと思いますので、福岡大学の紹介はここまでにして、そこで何を研究したかについて報告させていただきます。

何を研究したかを簡単に言えば、創造力の育成に関する研究です。現在、創造力を育成するための教育方法が開発されており、久留米高専でもいくつかの授業や課外活動が行われています。ロボコンやプロコンなどがその例ですし、卒業研究なども該当すると思います。

私は、このような授業や課外活動で創造力を育成することを、非常に重要だと考えています。創造力は、人間が成長する過程で自然と身についていく能力です。しかし、足の速さが異なるのと同様に、創造力にも個人差があります。普通に遊んでいるだけで速く走れるようになる子供もいますが、そういう子供ばかりではありません。これを職業で考えた場合、1万人に数名しか必要とされない高い創造力を必要とする職業、例えば芸術家や研究者であれば、もともと創造力が高い学生を集めればいだけですが、しかし、エンジニアなどの1万人に数百人から数千人が必要な職業ではそういうわけにはいきません。この数百人から数千人の中には、創造力が充分育っていない学生が存在するはずで、そのため、日本の産業界の底上げを図るには、いずれは社会人として巣立っていく学生諸君に対し、学校教育の中で創造力を育成する必要があると考えています。

しかし、先ほど創造力は自然と身につくと書きましたが、直接教授することが難しい能力です。これは、「学習」という単語が「学ぶ」と「習う」から成り立っているように、学習には能動的なものと受動的なものがあり、創造力は学習者自身の能動的な学習によって「学ぶ」必要があるためです。このことは、創造力を育成する教材が、楽しみながら能動的な学習を行えるもの、例えば、ロボットやゲームなどが多いことからわかります。

このように、創造力を育成することは難しく、しかも、現時

点では創造力を測定する手法が少ないため、本当に創造力が育成されたかがわからないままになっています。そこで、創造力を開発するための研究の一環として、創造力が育成されたかを調査する方法を開発したいと思い、10ヶ月の研究を行ってきました。紙面の都合で少し乱暴な内容の文章になりましたが、以上が、内地研究員として行った研究の内容をまとめたものです。今回の研究で得た成果は、高専の学生を教育する上で重要であり、今後の職務に活かしたいと思っております。最後に、内地研究員として学外へ出ることを許可して下さった前田前校長と、JABEE 審査がある年度にも関わらず快く送り出してくださった制御情報工学科の教職員ならびに事務職員の方々には、この場をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。

地震と火災を想定した防災避難訓練の実施

去る5月19日に久留米市消防署員立会いの下、震度5強の地震による火災発生を想定した防災避難訓練を行いました。学生や教職員の防災意識を高めることを目的としたもので、学生と教職員合わせて約1,200名が参加しました。訓練では上田校長を対策本部長とした職員による自衛消防団を結成し、教員と職員が連携を図り、消火器の操作、119番への通報、学生の避難誘導、負傷した学生の介助等それぞれが役割を果たしながら真剣に行われました。

避難終了後は、消防署員による消火器の使用方法や防災の際の心構え及び基礎知識についての説明、今回の防災避難訓練全般の講評が行われ、参加者は、この訓練で避難にあたっての注意事項を確認し合い、防災意識を高めることができました。



産学民連携テクノセンターについて

産学民連携テクノセンター長 藤田 雅俊

全国の高専が独立行政法人化して以降、教育・研究に加え、地域貢献が重要なミッションとして位置づけられました。久留米高専の産学民連携テクノセンターは、その構想の下平成22年2月26日に竣工しました。テクノセンターは産学連携・地域連携の拠点として、共同研究や公開講座等に積極的に取り組み、地域社会へ貢献するために多様な役割を担います。施設の新設に伴い、校内の組織も産学民連携テクノセンターとして名称を統一し、4月より新たな活動に入りました。

本センターでは久留米・鳥栖広域圏、さらに県境を越え国内全域に向けて、本校の産学民連携活動の拠点として様々な支援事業を計画しています。1階の重点研究プロジェクト室は、本校研究者からの申請に基づき、テクノセンター委員会において選定された研究を重点研究プロジェクトとして、2年の期限を基本として研究利用に供与することとしています。2階共同利用講義室は、小中学校の理科教育支援や社会人向け公開講座など、校内校外を問わず地域の方々に利用していただける施設です。

また、本センターとしてのエントランスは、既設専攻科棟の玄関を共用しています。これは、教育・研究において、地域の企業との協働教育を特色としている本校専攻科と連動した新たな活動拠点として位置付けられているためです。

本センターが、地域の皆様、企業の皆様と久留米高専の接点となるよう心掛けてまいりますので、皆様のご意見ご指導を頂きますようよろしくお願いいたします。



建物名

産学民連携テクノセンター

鉄筋コンクリート2階建 総面積412㎡

1階 重点研究プロジェクト室

(機電系・物質系各1部屋)

2階 共同利用講義室(公開講座等セミナー室)

主な業務

・地域産業界との連携

共同研究・受託研究・技術相談等の多様な連携制度により、民間企業等の研究内容・テーマ及びニーズに対応します。

・地域の教育機関との連携

各種教育関係機関・団体と連携し、小中学校向け理科教育支援、出前授業、ものづくり支援活動、教員研究会、科学実験展示等の科学技術教育支援事業を行っています。

・大学・高専・教育機関・商工会との連携

大学、高専、研究機関、地域企業等に密着したテーマでフォーラム、講演会、セミナー等を実施しています。また、地域産業界等と連携して技術開発、技術発展を図ります。

地域社会との連携

本校の教育・研究を広く解放し、地域社会における生涯教育の一環として、各種公開講座を開設しています。



本号掲載記事の無断転載を禁止します。